

【(株)柳ファーム】

「契約栽培」「単棟ハウス栽培による商品価値向上」⇒ 安定した生産を実現

- ◇ 大区画ほ場や畑かん用水を有効に活用し、大規模生産に適したレタスを中心に、キャベツやかぼちゃなど**複数品目を年間を通して栽培**
- ◇ 76棟の単棟ハウス導入により、冬場のレタスの品質が向上し、出荷ロットの安定化によりレタスの**商品価値が向上**

特徴的な取組

内容

契約栽培による出荷

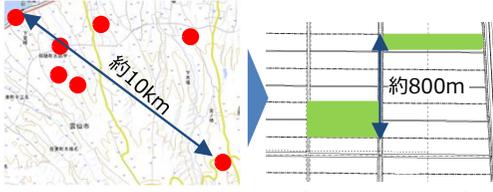
計画的な生産
出荷先を確保し、カット野菜として年間を通じた計画的な生産を実施

単棟ハウス導入

作業環境改善、商品価値向上
トンネル栽培からの変更により、天候に左右されない作業環境を確保するだけでなく、温度管理によって冬場の品質が確保され、商品価値が向上

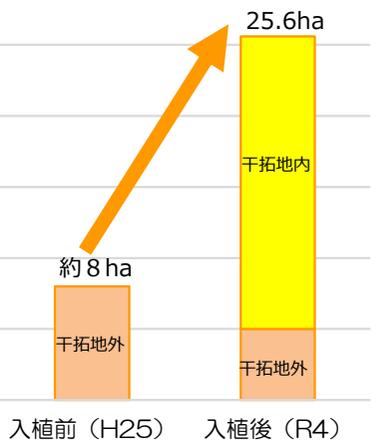
経営面積の拡大

作業効率の向上
作業効率の良い集約された農地への入植により、経営面積が拡大



入植前前は約7箇所にて8haが分散していたが、入植後は2箇所にて20.6haを耕作

効率的な生産が可能となり、**経営面積が約3倍**に



干拓地の魅力

入植前はほ場が分散しており、ほ場毎の資材の整理や機械の片付けを含め、移動に約30分以上必要だったが、**集約化された農地**への入植によって移動が不要となり、**作業効率が上がった。**

経営の概要 (令和5年9月時点)

- 経営面積 25.6ha (うち干拓地内: 20.6ha)
- 基幹作物・収穫面積 (干拓地内/令和5年度)
露地: レタス、キャベツ、たまねぎ
単棟ハウス: レタス、かぼちゃ
- 雇用者数: 16名 (技能実習生、短期含む)



※写真提供: (株)柳ファーム ※背景図: eMAFF農地ナビ